

文化人類学研究科（修士課程）の2019年度以降の学生募集停止について

京都文教大学文化人類学研究科（修士課程）は、2019年度から学生募集を停止することと致しました。

文化人類学研究科は、文化人類学的知識と素養の教授を中心に据えた教育により、異文化接触の現場において適切に対応できる高度な異文化間リテラシーを備えた地域問題の専門家と、現代社会の問題の専門家を養成することを目的に2000年4月に設けられ、これまで多くの修了生を社会に輩出してきました。

今日の日本社会においては多文化化が加速度的に進んでおり、文化人類学的素養は専門家に限らず、広く社会人の基礎的能力として必要不可欠なものとなっています。京都文教大学では、社会のニーズによりよく応えるため、文化人類学研究科において培ってきた教育メソッドを学部教育に発展的に組み込むことと致しました。

なお、在籍中の大学院生はもとより2018年度入学生を含めたすべての大学院生が修了するまで、これまでどおり研究教育指導を継続するとともに、就職・進学支援に万全を尽くす所存です。また、修了生への対応についても、今後の支障がないよう万全な体制を構築してまいります。

これまでの文化人類学研究科の教学に対するご理解とご協力をいただいた多くの皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今後の新たな展開にご支援いただきますようお願い申し上げます。

2017年7月5日

京都文教大学

学長 平岡 聡

文化人類学研究科長 金 基淑